

明日に架ける橋

2024年度 進路だより 第10号
兵庫県立明石高等学校進路指導部
2025年2月27日発行

77回生の大学受験を振り返って

77回生の受験がいよいよクライマックスを迎えています。この『明日に架ける橋』が発行される頃には、国公立大学の前期試験が終わり、残る入試は国公立大学と私立大学の後期試験となっていますね。後期試験は大逆転が狙えるラストチャンス。しっかりと勝負してきて欲しいと思っています。

「受験は粘り」とよく言われます。現役生には、最後の最後まで粘り強く努力することで驚くほど学力を伸ばして目標校の合格を手にする人が多くいます。77回生の私立大学の一般選抜入試の結果にもそれは明らかでした。しかしこれは、3年生での本格的に追い込みをかける時期だけ頑張れば良いという意味ではありません。入試の結果を見て改めて感じたことは「入試は3年間の高校生活の集大成である」ということです。

1年時から日々の授業を大切にし、小テストと定期考査で好成績をキープしてきた人は受験にも強いです。英単語の小テストを例に取り上げると、77回生は毎週の英単語テストは不合格になると同じ週に合格するまでのエンドレス再テストを実施してきました。必ず学年の全員が合格して終わりますが、結果として3年時に語彙がしっかりと定着しているのは1回目のテストで満点や高得点で合格し続けた人たちです。再テストで居残りして最終的に合格する人はあまり語彙力が伸びていませんでした。両者の違いは身につけようと意識を持って取り組んでいるかどうかです。小テストの試験範囲は定期考査で繰り返し学習することになります。その都度意識して取り組んでいれば、その繰り返しの中で自然に語彙力がついていきます。そして同時に、自主的・計画的に合格ラインを超える学習を続けていくことで入試に合格できる学習の姿勢が身につきます。「決められた日に決められた合格ラインを超える」ことは受験にも当てはまります。このように、日々の学習への取り組みは受験に向けての基礎学力を身につけること共に、受験で勝てる学習の仕方を身につけることに繋がります。

学習以外の面において高校生活で頑張れた人は受験にも強いです。欠席をしない人、部活動で頑張れる人、学校行事や日ごろの様々な学校での活動に本気で取り組める人は、受験勉強において努力を継続することができます。それは、それらを通してしんどいことを乗り越えた後にある達成感や喜びを知っているから、また、仲間と心でつながり励まし合いながら頑張れるからだと思います。

進路実現に向けては様々な入試方式がありますが、どの方式を使うにせよ、合格を勝ち取るための近道は存在しません。高校生としてすべきことに前向きに取り組み、進路目標を強く持ってコツコツと努力していくことが勝利の鍵であることは間違いありません。

さあ、ラストスパート

一般選抜入試は私立大学が一段落し、国公立大学の前期日程が終了しました。私立大学一般選抜の前期日程の可否結果を見ると、やはり「大学入試には番狂わせはない」とうことがよく判りました。調査書の評定が高い人が、推薦・一般を問わず、志望大学の合格をしっかりと勝ち取っています。

今年度の『明日に架ける橋』で何度も言ってきましたが、日々の予習を大切に授業に真剣に臨み、定期考査や小テストで高得点を取り続けることが、自分の進路開拓・夢実現に繋がっています。国公立大学の推薦入試の合格者は2月20日現在で17名ですが、この人たちを含め、推薦入試、一般選抜前期日程で志望校合格を勝ち取った皆さん、本当におめでとうございます！ 努力が実を結びましたね。

まだ進路の決まっていない人は、ラストスパートです。国公立大学志望の人は、後期入試はチャンスです！ 私立大学志望の人、3月入試(後期入試)はチャンスです！ 国公立・私立大学とも後期入試は高い倍率で難関と思われがちですが、すでにその大学で前期入試で合格した人は受験しません。したがって受験する層は、当然ダウンします。倍率に惑わされず、チャレンジしましょう。筆者の長女・長男とも2月入試で全て不合格でしたが、3月入試は

3学年主任 藤村 ゆう子

2月入試で不合格であった大学より偏差値的にかなり上位の大学に合格した、と2～5組の人には授業中に話しましたね。このような例は、数多く起こっています。3月30日前後に急遽追加合格の連絡が大学から来て、進路先が決まった人もいました。後期入試を受験していなければ、このようなチャンスは生まれません。

3月になっても出願できる大学は多くあります。進路先が第一志望校に決定していない人は、担任の先生、進路指導部に早急に相談に来てください。
「あきらめなければ必ず道はある。必ず」(豊田佐吉)



3年生へ 進路指導部からの連絡とお願い

(1) 3月中は明高生です

明日の卒業証書授与式で「卒業証書」を校長先生からいただきます。その日付は3月1日となっていますが、身分上は3月31日までは高校生です。3月いっぱい、明石高校生として自覚と責任のある行動を取ってください。

(2) 可否結果・最終進路先を連絡してください

今後の可否結果は判明次第、担任の先生に速やかに報告してください。報告内容は以下の通りです。

①合格・不合格 ②学部・学科・日程・方式 ③最終進路先なのかどうか

3月末に進路指導部で集計をして、文部科学省や兵庫県に合格数と3年生全員の最終進路先を報告する必要があります。仮に浪人となっても、「自宅浪人」か「予備校(予備校名)」なのかを伝えてください。進路相談をして、調査書や推薦書を作ってください担任の先生への礼儀でもあるので、必ず報告をお願いします。

3月は、高校入試の関係で登校禁止、担任の先生が出張等でご不在の場合がありますから、登校する場合は必ず事前に担任の先生に連絡してから登校してください。

(3) 「卒業証明書」について

卒業時に全員に「卒業証明書」が2通配布されます。「卒業証明書」は、進路先に提出する必要があり、奨学金申請の際にも使います。来年受験に再度チャレンジする人は、来年度の大学入試センター試験の出願書類となります。なお、兵庫県の規定により3月1日以降は調査書・卒業証明書・成績証明書の発行には手数料(1通につき400円)が必要となるので、気をつけてください。

(4) 後輩のために協力をお願いします

受験が終わって不要になった赤本、問題集など提供できる人は、後輩のために提供をお願いします。期間は定めませんので、進路指導室まで持ってきてくれれば嬉しいです。

(5) 指定校推薦で進学する人へ

指定校推薦の事前説明会、校内選考内定後の説明会でも、十分に理解してもらったと思いますが、指定校で進学した人が成績不振で留年したり、学校を退学したりすれば、今後明石高校からの指定校推薦の枠をいだけなくなる場合があります。指定校で進学する皆さんは、その学校へ進学した過去の明高の先輩方が成績優秀であったために自分の進路が保証されたということを決して忘れることなく、学業に励んでください。

ただ、どうしても学校を辞めたいなどの場合は、必ず先に進路指導部または旧学年団の先生へ相談してください。

(6) 来年以降、再挑戦する人へ

①今年の入試が不調に終わって、来年受験に再チャレンジする人は、3月、4月が大切です。今までやってきた受験勉強を途切れらせることなく、3月で上積みしていくことが、来春の栄冠につながります。今年、残念な結果に終わった原因と過程をしっかりと検証して、スタートダッシュを切ってください。

多くの人は予備校に通って受験勉強を頑張ると思いますが、自分に合った予備校を選んでください。担任の先生や進路指導部の先生からのアドバイスなども参考にしながら、正しい選択をしてください。

また、勉強の状況、志望校や受験パターンなど、定期的に3年の担任の先生に報告してください。先生方は、特に浪人した生徒のことがとても気になりますので。

②来年度の調査書発行を依頼する際は、原則として3年生の時の担任の先生に依頼してください。担任の先生が転勤や退職されている場合は、学年主任や副主任の先生方が対応してください。2浪以降は進路指導部で対応しますが、旧担任の先生には報告はしてほしいと思います。また依頼の際は、必ず前もって電話で連絡をしてください。調査書発行までには数日かかりますから、余裕を持って依頼をお願いします。